

つるみこくさいこうりゅう 鶴見国際交流ラウンジニュース Tsurumi International Lounge News



5P ⇒ <English> 6P ⇒ <中文> 7P ⇒ <한가>
8P ⇒ <Português> 9P ⇒ <Tagalog> 10P ⇒ <Español>

2021・7-9
No.66

鶴見国際交流ラウンジで活動している部会のひとつ、交流部会についてコーディネーターの日高嘉恵さん（写真右）に部会の設立や活動などについてお話を伺いました。



設立は？活動の趣旨は？

以前から国際交流の活動は行われていましたが、鶴見ラウンジが2010年12月に設立された時に正式に部会として立ち上がりしました。多文化のまち鶴見において外国の方との相互理解のためにいろいろな切り口でイベントを開催するというのが趣旨です。現在は十数名の部会員が月に1回集まってイベントの企画などを話し合い、年に4～5回のイベントを実施しています。

外国の方のイベントへの参加は？

1回のイベントで20名前後の参加を募りますが、日本独自の文化を紹介するイベントには外国の方の参加が多いです。逆に外国のどこかの国にスポットを当てればその国に興味がある日本の方の参加が多いですね。

参加者の感想は？

毎回参加者にアンケートを実施しています。酒蔵を見学した時は、料理の好きな外国の方が日本酒に合う料理やつまみに興味を持った、と。ブラジルの方は普段はワインをよく飲むが、日本酒の奥深さを知った、という感想をいただいています。

今までイベントを実施して印象に残ったことは？

一番印象に残っているのはおとし実施した「多文化の街 鶴見を歩こう」です。楽しく街歩きしながら、参加者自らがその痕跡を探そうという趣旨のイベントで、鶴見線ホームにある朝鮮の方から贈られた時計を見たり、朝鮮幼稚園を訪問したり、沖縄物産センターに行ったり。鶴見のまちに出ようという企画は私がコーディネーターになって初めてでしたので、進めていくのも手探りでしたがおもしろかったです。

大変だったことは？

コロナ禍でのイベントの実施、交流というのは一番コロナの影響を受けるので、どのように工夫するかというのは難しかったです。でも教室を抜け出して外に出よう、と去年は「訪ねるシリーズ」で酒蔵、韓国・朝鮮、沖縄と実施しました。酒蔵は当初5月の実施予定でしたが、感染状況から10月に変更になりました。

今後の活動予定は？

交流部会では3か年ストーリーがあって、去年はオールドカマー、韓国・朝鮮、沖縄の人たちの文化、生活を知ろうという企画を実施しました。今年はミドルカマーに焦点を当てるとすることで南米の人たちの文化、生活を知ろうという企画を実施します。3年目はニューカマーに焦点を当てようということで最近増えてきた人たち、中国、フィリピン、ベトナム、ネパールなどの人たちを知ろうというプロジェクトです。

去年はイベントのひとつ「つるみクロッシング」がコロナのために実施できませんでした。サルビアホールで行われる一番大きなイベントで、出演者との打ち合わせも済み舞台設営も済んだところで中止になってしまいました。その時にスタンバイしていた国の人たちにどこかで出てきてもらおうという思いもあります。

本年度は「つるみクロッシング」は行われないので、よけいにその時参加していただくはずだった方々にスポットを当てたいですね。